資料　1－4

大気モニタ・ヨウ素サンプラの整備について

1　整備事業（京都府）

原子力災害時における放射線影響評価のため，大気中の放射性物質濃度を測定する大気モニタ及び人体への影響が大きい放射性ヨウ素の大気中濃度を測定するためのヨウ素サンプラを設置する。（大気モニタ 18 か所，ヨウ素サンプラ 9 か所）

※ 平成 29 年度原子力発電施設等緊急時安全対策交付金（国庫）で府が整備

2　整備内容

種類	測定対象	測定時点	目的	活用方法
大気モニタ	大気中の放射性物質濃度（β線放出核種）	リアルタイム測定	放射性物質を含んだ空気の一団（プルーム）の存在をリアルタイム把握	放射性物質の拡がりを確認するとともに、被ばく評価に活用
ヨウ素サンプラ	大気中の放射性ヨウ素の濃度	事後測定	内部被ばくによる影響が大きい放射性ヨウ素の拡散状況の事後把握	

3　京都市内の設置場所

広河原測定所（元堰源小学校）

※既存の固定測定所設置場所に隣接して設置。
（非常用電源を備える。）

4　設置時期

平成３０年３月